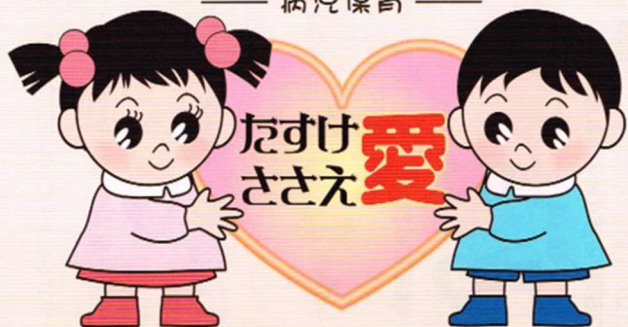


あいあいきつす

病児保育



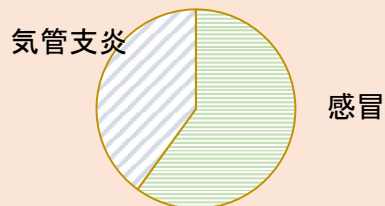
令和 5 年 9 月号

朝夕の澄んだ空や肌に当たる冷たい風、季節の移り変わりを感じるこの頃です。日差しには夏の名残もありますが、日の長さも随分と短くなってきました。

季節の変わり目は大人でも体調を崩しやすい時期です。体の機能の発達途上の子どもの場合、暑さや寒さに対応しにくいものです。新陳代謝は高いため、厚着したまま動くと汗をかき、汗が引く際に体温を奪われると風邪をひきやすくなります。また暑い・寒いなどを口で伝えられないことも要因のひとつです。脱ぎ着しやすい上着やベスト、帽子などで調整するといいいでしょう。また上着の下は通気性の良い肌にもやさしいものの方がおすすめです。

行事やイベントの多い時期ですね。普段と様子が違う場合は、早めの受診や休息をとりましょう。

8月利用児病名割合



2023年		(報告週) 第36週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ/COVID-19定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	334	3.71	23,426
	○ COVID-19	1,367	15.19	20,446
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	36	0.69	1,016
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.85	1,026
	○ 感染性胃腸炎	198	3.81	11,386
	○ 水痘	5	0.10	151
	○ 手足口病	92	1.77	1,138
	伝染性紅斑	-	-	49
	突発性発しん	13	0.25	593
	ヘルパンギーナ	55	1.06	5,079
	○ 流行性耳下腺炎	3	0.06	124
	RSウイルス感染症	41	0.79	4,171
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	2
	流行性角結膜炎	4	0.57	117
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	4
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
報告数合計		2,192	0	68,731

○印は前週比増



アデノウイルス

アデノウイルスは、呼吸器・目・腸・泌尿器などに感染症を起こすウイルスです。

症状: 発熱・目の充血・咽頭痛・下痢・血尿など

感染経路: 飛沫感染・接触感染・糞口感染

治療: 特効薬はなく対処療法

アデノウイルスは感染力が強く、家族全員にかかることもあります。タオルの共有は避け、ドアノブなどの消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

予約受付時間 7:30~20:00(月~土)
(日・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきつす

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

